

航空特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 }
無線工学 12問 } 24問 1時間

法 規

〔1〕 無線局の無線設備の変更の工事の許可を受けた免許人は、総務省令で定める場合を除き、どのような手続をとった後でなければ、許可に係る無線設備を運用してはならないか。次のうちから選べ。

- 1 当該工事の結果が許可の内容に適合している旨を総務大臣に届け出た後
- 2 総務大臣に運用開始の期日を届け出た後
- 3 総務大臣の検査を受け、当該工事の結果が許可の内容に適合していると認められた後
- 4 工事が完了した後、その運用について総務大臣の許可を受けた後

〔2〕 次の記述は、航空機局等の条件を述べたものである。電波法施行規則の規定に照らし、 内に入るべき字句を下の番号から選べ。

航空機局及び航空機地球局（航空機の安全運航又は正常運航に関する通信を行わないものを除く。）の受信設備は、なるべく、航空機の によって妨害を受けないような箇所に設置されていなければならない。

- 1 機械的雑音
- 2 振動
- 3 衝撃
- 4 電氣的雑音

〔3〕 無線従事者は、免許証を失ったためにその再交付を受けた後、失った免許証を発見したときは、発見した日から何日以内にその免許証を総務大臣に返納しなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 7日
- 2 14日
- 3 10日
- 4 30日

〔4〕 無線局の免許人が電波法又は電波法に基づく命令に違反したときに総務大臣が行うことができる処分はどれか。次のうちから選べ。

- 1 期間を定めて行う電波の型式の制限
- 2 送信空中線の撤去の命令
- 3 期間を定めて行う通信の相手方又は通信事項の制限
- 4 期間を定めて行う周波数の制限

〔5〕 総務大臣が無線局に対して臨時に電波の発射の停止を命ずることができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
- 2 免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて無線局を運用していると認めるとき。
- 3 無線局の発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えていると認めるとき。
- 4 運用の停止を命じた無線局を運用しているとき。

〔6〕 無線局の免許人は、無線従事者を選任し、又は解任したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1箇月以内にその旨を総務大臣に報告する。
- 2 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
- 3 速やかに総務大臣の承認を受ける。
- 4 2週間以内にその旨を総務大臣に届け出る。

航空特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。
- 2 無線通信は、正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、通報の送信後、訂正箇所を通知しなければならない。
- 3 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
- 4 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。

〔8〕 無線局は、自局の呼出しが他の既に行われている通信に混信を与える旨の通知を受けたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 空中線電力をなるべく小さくして注意しながら呼出しを行う。
- 2 中止の要求があるまで呼出しを反復する。
- 3 混信の度合いが強いときに限り、直ちにその呼出しを中止する。
- 4 直ちにその呼出しを中止する。

〔9〕 無線局は、無線設備の機器の試験又は調整を行うために運用するときに、なるべく使用しなければならないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 空中線整合装置
- 2 擬似空中線回路
- 3 高調波除去装置
- 4 空中線電力低下装置

〔10〕 無線局を運用する場合においては、遭難通信を行う場合を除き、電波の型式及び周波数は、どの書類に記載されたところによらなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 無線局事項書の写し
- 2 無線局の免許の申請書の写し
- 3 免許状
- 4 免許証

〔11〕 次の記述は、遭難通信の使用電波について述べたものである。 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

遭難航空機局が遭難通信に使用する電波は、 がある場合にあっては当該電波、その他の場合にあっては航空機局と航空局との間の通信に使用するためにあらかじめ定められている電波とする。

- 1 責任航空局又は交通情報航空局から指示されている電波
- 2 責任航空局に保留されている電波
- 3 この目的のために別に告示されている電波
- 4 特に総務大臣から指定を受けた電波

〔12〕 無線電話通信において、無線局は、自局に対する呼出しを受信した場合に、呼出局の呼出符号又は呼出名称が不確実であるときは、応答事項のうち相手局の呼出符号又は呼出名称の代わりにどの略語を使用して直ちに応答しなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 各局
- 2 貴局名は何ですか
- 3 反復
- 4 誰かこちらを呼びましたか